



創価大学

Discover your potential
自分力の発見



2020年 創立50周年へ
創価大学グランドデザイン

2010年4月1日

2020年 創立50周年へ 創価大学グランドデザイン

はじめに

1971年の開学以来、本学は建学の精神の実現を目指し、人間教育の最高学府として、不断の改革を継続し、発展を遂げてきました。

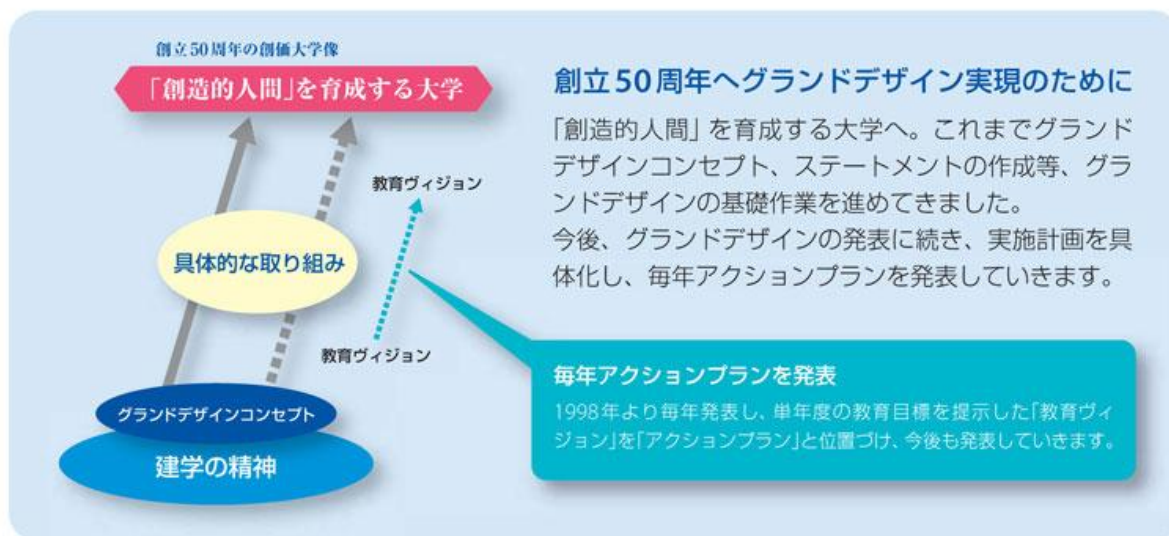
そして2020年—創立50周年の創価大学像を描くために、本学は、これまでの伝統と実績を検証しつつ、

- ・建学の精神を根本に本学で学んだ人材を社会に輩出する使命
- ・その人材を養成するための具体的な教育・研究システム
- ・その教育・研究をサポートする大学の総合的な環境の整備

の3点を柱に、グランドデザインを策定しました。今後このグランドデザインの実現に取り組み、先進的なモデルとなる大学を目指していきます。

創価大学グランドデザイン

創価大学グランドデザインとは、少子化・多様化の時代に向かう本学が、今後とも競争的環境下において選ばれる大学であり続けるために、10年を視野に、その目標・計画を戦略的に示すものです。これまで7つの分科会等を設置し、学内で検討されてきた内容を、教育戦略・研究戦略、国際戦略、学生支援強化戦略、生涯教育・通信教育と、それをサポートするキャンパス・財政計画、管理運営計画、広報計画に分けて、2020年までの具体的な取り組みの全体像を明らかにしました。



創立者 池田大作先生

プロフィール

昭和3年1月2日東京生まれ。富士短期大学卒業。創価学会名誉会長、創価学会インタナショナル(SGI)会長。本学のほか、アメリカ創価大学、創価学園、(財)民主音楽協会、(財)東京富士美術館、(財)東洋哲学研究所、戸田記念国際平和研究所などを創立。平和、文化、教育の推進に尽力。世界各国の指導者、知識人と対話を続けている。

国連平和賞はじめ、ブラジル南十字国家勲章、オーストリア共和国学術・芸術最高勲位栄誉賞、ケニア口承文学賞、桂冠詩人の称号など海外の諸大学、学術機関から多数の名譽称号を受ける。

主な著書に「人間革命」(全12巻)、「新・人間革命」対談集に「二十一世紀への対話」(A. トインビー)、「闇は暁を求めて」(ルネ・ユイグ)、「二十一世紀への警鐘」(A. ベツェイ)、「生命の世紀への探求」(L. ボーリング)、「世界市民の対話」(N. カズンス)、「二十世紀の精神の教訓」(M. ゴルバチョフ)など。また、「さくらの木」などの童話や、「青春対話」など青少年向けの著作も多数。



山本英夫学長

ごあいさつ

我々が希望を抱いた21世紀。しかし、その現実には教育界をはじめ、社会のあらゆるところで混沌の一途をたどっています。閉塞感のある社会にあって、その状況を変えゆく人材が求められており、高等教育に携わる者の責任は重大であると深く受け止めています。

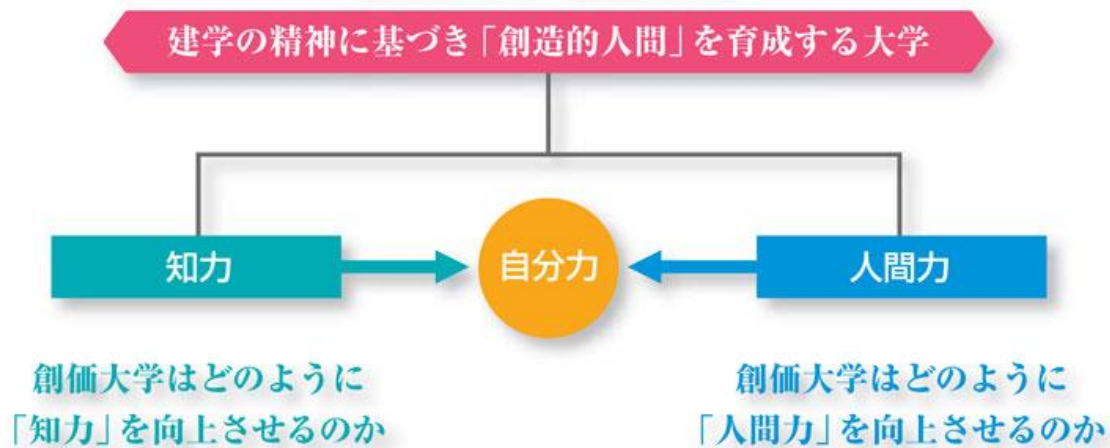
いかなる時代にあっても、創立者池田大作先生の示された建学の精神を体現し、あらゆる分野で新たな価値を創造していく「創造的人間」の育成こそ、創価大学の不変の使命であります。

創価大学グランドデザインは、2020年の創立50周年を目指して、本学の不変の使命を具現化するための戦略を明らかにしたものです。開学以来の伝統である「学生第一」の精神を堅持し、教職一体となって、また関係者の皆様と力を合わせて、新たな歴史と伝統を築いてまいります。

創立50周年の創価大学像と創価大学グランドデザイン

- ① 創立50周年の創価大学は「建学の精神に基づき『創造的人間』を育成する大学」となる。
- ② 創価大学は、学生一人ひとりが有している可能性を「自分力」と宣言する。
- ③ 創価大学の教育は、「知力」と「人間力」を向上させ、「自分力」を発見し、その可能性を開花させゆくものである。
- ④ 「知力」とは、「読む・書く・聞く・話す」力を基礎とした「分析する力・統合する力・創造する力」のことをいう。
- ⑤ 「人間力」とは、「信念を実践的に継続する力・他者と協同する力」のことをいう。
- ⑥ 創立50周年までを3つのステージに分割し、グランドデザインの各分科会等で検討された内容を基盤としながら、毎年アクションプランを発表する。
- ⑦ 創立50周年の創価大学像とグランドデザインを効果的に発信し、創価大学のブランド力を向上させる。
- ⑧ 教職員は、全学的な取り組みはもとより、各学部・各部課・個人において、創立50周年を目指した創価大学像の具現化のために、間断なき努力を続けていく。

創立50周年の創価大学像



本学は学生の基礎学力として、「読む・書く・聞く・話す」力を養成し、これを土台に「分析する力・統合する力・創造する力」へと応用していくことを目指します。この「分析する力・統合する力・創造する力」を「知力」と定義して、以下の3点に取り組みます。

1 「学士課程教育機構」の設置による教育システム・プログラム開発

2010年度より新たに「学士課程教育機構」を設置し、学士課程教育の質的向上に必要なプログラムの開発と授業展開、評価・改善を図っていきます。本機構が「学習成果（ラーニングアウトカム）」評価の問題等の先導的役割を果たしていきます。

2 「総合学習支援センター」における学習サポート体制の充実

新「総合教育棟」の完成（2013年予定）を目標に、「総合学習支援センター」を設置します。ライティングスキルの強化や語学力の向上など、「分析する力・統合する力・創造する力」を養成するためのサポートを行います。

3 学部組織の再編成

第1ステージでは、文学部に社会福祉系の専修を新たに設置します。また、時代のニーズに違い、本学の教育理念をより鮮明に実現する新たな学部の設置を目指します。

本学では、「人間力」を、いかなる困難にあっても価値の創造をやめない「信念を実践的に継続する力」、豊かな人間性を基盤として、人類が直面する問題に真摯に取り組み、智慧を発揮していく「他者と協同する力」と定義し、以下の3点に取り組みます。

1 「SOKAプログラム21(自校教育)」の体系化

学士課程教育の中で「建学の精神」や「人間主義」等を根幹にした科目群を「SOKAプログラム21」として体系化します。創立者の理念を学ぶことのできる国内唯一の高等教育プログラムとして、本学の特色ある教育の主軸に据え、「人間力」向上の基盤としていきます。

2 コミュニケーション能力の向上

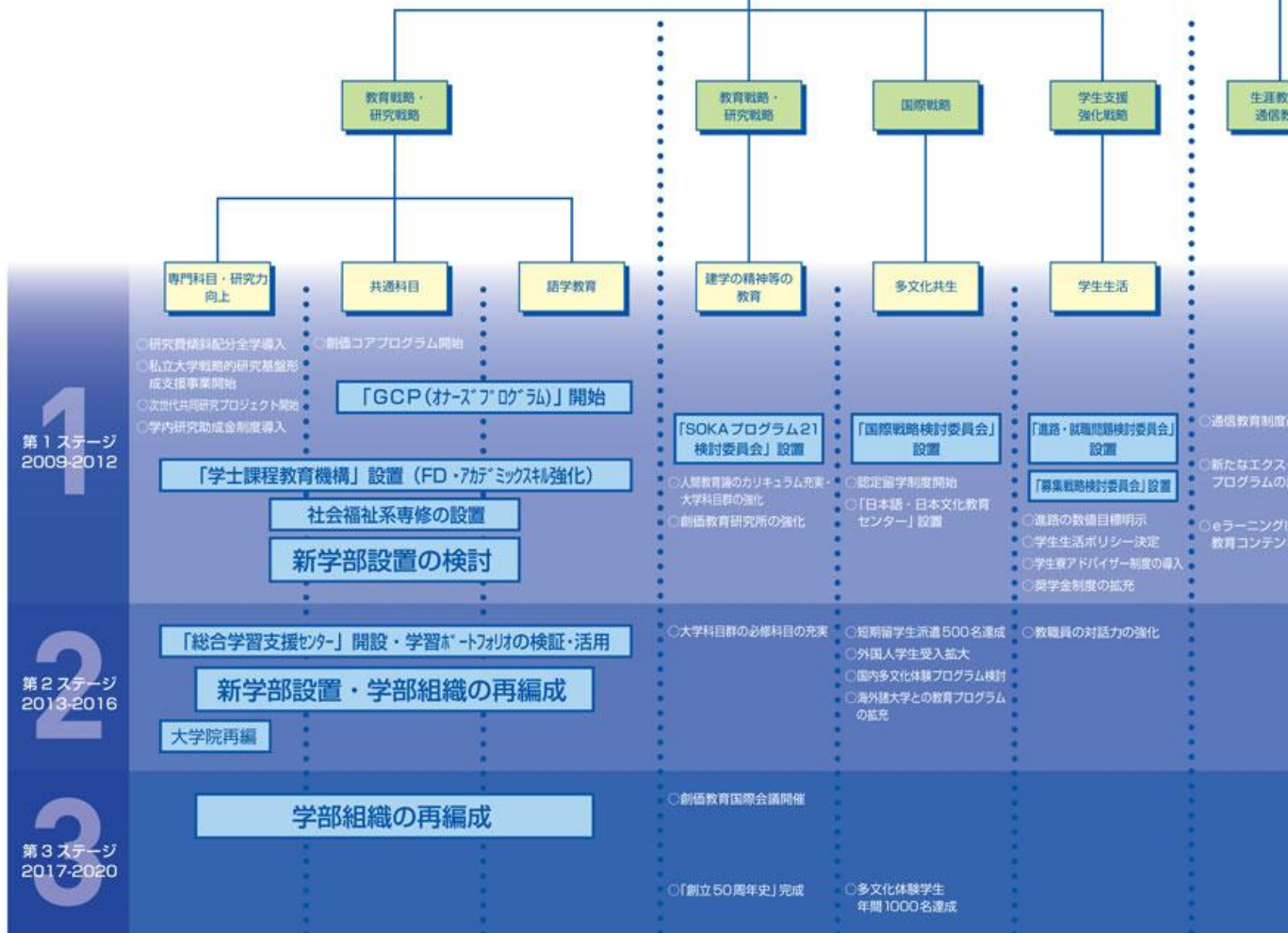
「人間力」の向上のために、「学士課程教育機構」が推進役となり、プロジェクト・ゼミやディベート、協同学習等の教育方法を積極的に用いることでコミュニケーション能力やリーダーシップを養っていきます。

3 国際戦略の推進

異文化交流の機会を計画的に拡大することによって、多様な世界の価値観を体験的に学ぶシステムを構築し、より多くの学生が海外へ渡航できるようにします。また、外国人留学生の受入拡大にも積極的に取り組みます。

創立50周年の創価大学像と創価大学グランドデザイン

建学の精神に基づき「創造的人間」を育成す



本学は、創立50周年の創価大学像を「建学の精神に基づき『創造的人間』を育成する大学」と定めました。

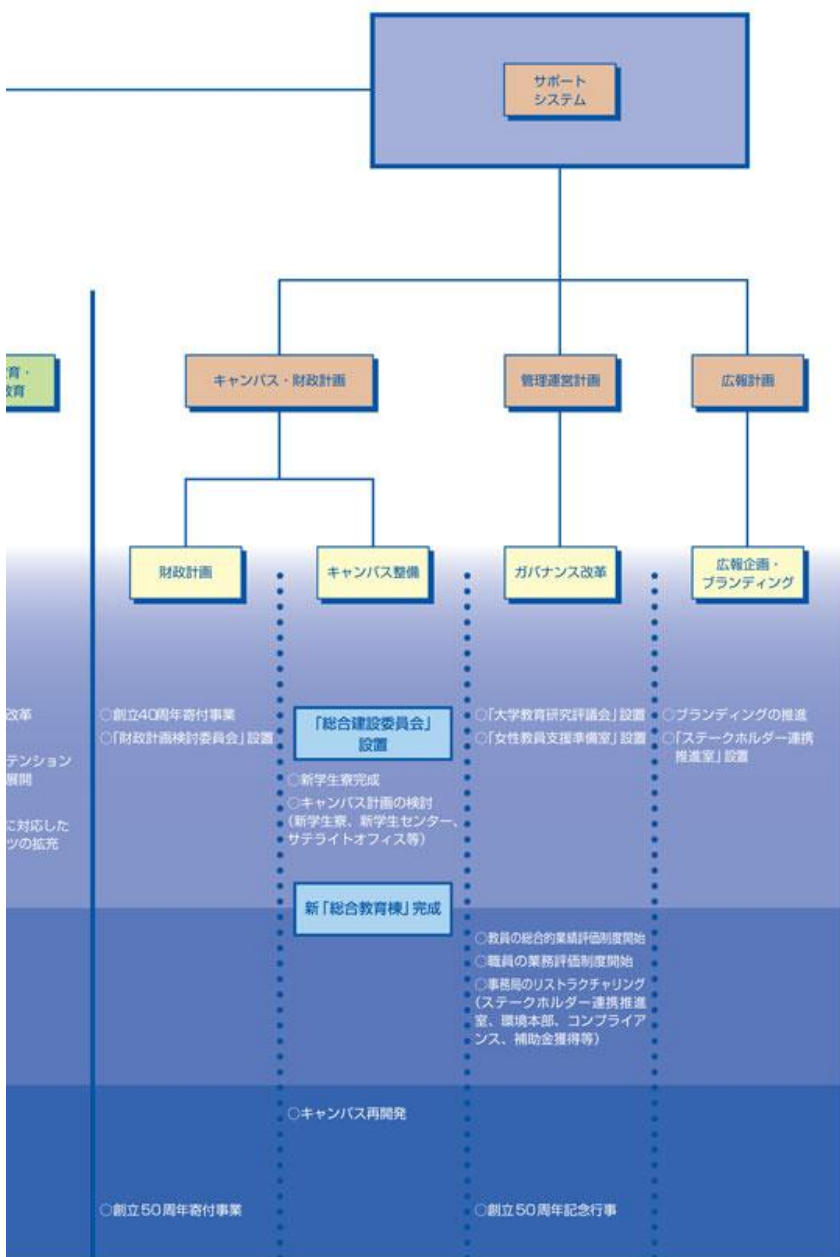
【創価大学 建学の精神】

- 一、人間教育の最高学府たれ
- 一、新しき大文化建設の揺籃たれ
- 一、人類の平和を守る要塞(フォートレス)たれ

本学においてこの建学の精神は原点であり、これを基盤に「創造的人間」を育成し、社会に優れた人材を輩出することが本学の変わらぬミッションです。

「創造的人間」は、まず「知力」と「人間力」が基礎をなしています。この「知力」と「人間力」を鍛える中で、自己の可能性や使命を見出していくと考えています。本学は、学生一人ひとりが有している可能性を「自分力」と宣言します。本学の教育は、「知力」と「人間力」を向上させ、「自分力」を発見し、その可能性を開花させゆくものでなければなりません。「創造的人間」とは、「知力」と「人間力」を鍛え、間断なき自己との闘争を繰り返しく存在であり、本学はこうした人材を輩出することを目指します。

る大学



【「創造的人間」の育成を目指して】

このグランドデザインの策定にあたって、教職員・学生をはじめ、卒業生や保護者等、多くの方々に協力をいただき、インタビューを実施しました。インタビュー結果を参考にしながら、学内で何度も議論を重ね、開学時から現在、そして未来の創価大学をつなぐキーワードは「創造的人間」であるという結論に達しました。創立者は、創価大学設立構想の中で、「創造的人間」について以下のように言及されています。

「もとより、大学が社会に貢献し、国家、世界の進歩・発展に役立つ人材を育成することを目指すのは当然であります。大学といえども社会、国家の現実から遊離したものであってはならないことはいくまでもありません。だが、真に役立つ人材とは、単に知識や技術に優れた人間ではない。それだけでは、国家社会の巨大なメカニズムの一部を構成する部品にすぎない。真に望まれる人材とは、高い理念をもった優れた人格者であり、豊かな個性をもち、そのうえで学問、技術を使いこなしていける革新的にして創造的な人間であると考えますが、いかがでありますか」(1968年5月3日)

グランドデザインでは、「創造的人間」の基礎をなす「知力」と「人間力」を向上させる取り組みを、4つの戦略(教育、研究、国際、学生支援強化)に分け、さらにその内容によって細分化しました。また、これらの戦略の推進にあたっては、確かな経営基盤を構築しつつ、ガバナンスの強化や施設の充実によってサポートしていきます。そして、2020年までを3つのステージに分割し、その戦略・計画をまとめたものが左の図になります。

これらのグランドデザインにおける様々な取り組みを、より効果的に発信していくため、ブランディングを強化します。裏表紙(最終ページ)に記載したステートメントに加え、ステークホルダーの記憶に残るアイテムの開発を行います。この他、「生涯教育・通信教育」もいっそう充実させていく予定です。各戦略・計画の取り組みは、その推進組織を明確にして、着実に達成されるように進捗状況を把握していきます。

創立50周年の創価大学像を具現化していくために何をすべきなのか、学生・教員・職員がそれぞれの立場で考え語り合い、本学のよき伝統である教・職・学が一体となって、「創造的人間」を育成する大学の建設に邁進してまいります。

「理念の共有から実践の共感へ」——本学が多くのの人々に選ばれ続けるために、創価大学は大きな一歩を踏み出します。

Messages from the

ステートメント：ブランディングの一環として、創価大学が対外的に発信する声明

「Discover your potential 自分力の発見」

ステートメントは、グローバル化する社会に対応するため、国外に向けては英語を使用するものとし、国内に対しては英語と日本語を併記します。「your potential」とは「一人ひとりがもっている可能性」を意味する言葉として、日本語では「自分力」と表現しています。このステートメントは、学生の可能性を見出し、「創造的人間」の育成を目指す創価大学の姿勢を表しています。

創価大学の歴史

1964年(昭和39年)	創価大学の設立構想を発表
1971年(昭和46年)	創価大学(経済学部、法学部、文学部)開学
1975年(昭和50年)	大学院(経済学研究科、法学研究科、文学研究科)開設
1976年(昭和51年)	経営学部、教育学部設置 通信教育部(経済学部、法学部)開設 別科(日本語研修課程)開設
1982年(昭和57年)	通信教育部(教育学部)設置
1985年(昭和60年)	創価女子短期大学開学
1988年(昭和63年)	文学部(人文学科)設置
1990年(平成2年)	文学部(日本語日本文学科、外国語学科)設置
1991年(平成3年)	工学部(情報システム学科、生物工学科)設置
1995年(平成7年)	大学院(工学研究科)設置
2003年(平成15年)	工学部(環境共生工学科)設置
2004年(平成16年)	専門職大学院 法務研究科(法科大学院)設置
2007年(平成19年)	文学部(人間学科)設置
2008年(平成20年)	専門職大学院 教職研究科(教職大学院)設置

創価大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

Tel: 042-691-9501 Fax: 042-691-9300

www.soka.ac.jp/